

## 2019年度福島県スポーツ振興基金申請内容チェックリスト

申請団体名					
助成対象事業名 ※対象事業の番号に ○を付ける。	I	スポーツ・レクリエーション指導者養成事業			
	II	2-1	子どものスポーツ環境に関する事業	2-2	成人のスポーツ環境に関する事業
		2-3	障がい者のスポーツ環境に関する事業	2-4	高齢者のスポーツ環境に関する事業
		3-1	地域活性化に関する事業	3-2	交流人口に拡大に関する事業
	IV	10	東京2020オリンピック・パラリンピック応援事業		
実施事業名					

下記チェックリストの項目について、申請書の内容を確認し、確認欄に○印を付してください。  
また、**チェックリスト（No.1～2）は、必ず申請書と併せて提出**してください。

### 【申請前の確認事項】

No.	確認項目等	確認欄
<b>助成対象団体について（1または2のどちらかに該当すること）</b>		
1	下記の条件を全て満たした生涯スポーツ事業を行う団体である。	
	①県内に団体の主たる事務局を有していること。	
	②定款又は規約が整備されていること。	
	③年間事業計画書が策定されていること。	
	④収支予算書・決算書が整備されていること。	
2	助成対象事業を非営利目的で行う企業である。	
<b>他の補助金・助成金との併用について</b>		
1	県の他の補助金及び助成金の申請予定はない。 (県の補助金の併用は不可。ただし、市町村からの補助金との併用は可。)	
<b>申請事業について</b>		
※これまで実施していた事業ではありませんか？ 新しい事業や企画を軌道に乗せるために助成金を活用しましょう。		
1	助成事業の実施が確実である。	
2	助成事業の目的が、生涯スポーツの振興に寄与している。	
<b>助成金の経理について</b>		
1	助成金の使途が明らかになるよう、他の経理と区別した特別会計を行い、収支簿が整って（準備されて）いる。	
2	会計処理の内容を、団体内で複数の者及び上司がチェックできる体制が整っている。	
3	適正な会計処理を行うために、『助成事業申請の手引き』12ページの16会計処理についてを確認し、理解した。	

⇒No. 2へ続く

「2019年度助成事業申請の手引き」「業務規則」を熟読し、記入例を参考に提出書類を作成しましょう！

【提出書類の確認事項】

No.	提出書類	確認項目等	確認欄
1	企画提案書 (様式第1号)	代表者役職・氏名欄に押印はありますか。 ※代表者の私印ではなく、団体の代表者印であること。	
2	事業計画書 (別紙1) (別紙1-1)	事業のねらい(目的)に沿った内容になっていますか。	
		事業の実施について、具体的な方法が示されていますか。 (講師・補助員の依頼先や人数 など)	
		事業の成果を具体的に確認できる評価方法が示されていますか。	
		事業の実施に向けた、具体的な計画となっていますか。	
		【確認ポイント】 ●実施予定日時 ●実施予定会場 ●対象及び予定参加(募集)人数 ●広報・周知方法および範囲 ●屋外開催時の雨天時対策について など	
3	収支予算書 (別紙2)	助成事業に直接必要な経費のみ計上していますか。	
		①助成対象経費及び②助成対象外経費の計上は適正ですか。 ※手引き 11 ページの 14 助成対象経費の基準等及び本基金ホームページの「早わかり! Q&A一覧」を必ずお読みください。	
		②助成対象外経費がある場合、内容(積算内訳)を記載しましたか。	
		収入合計(セルC13)=支出合計(セルC27)となっていますか。	
4	助成対象経費内訳書 (別紙2-1)	単価、人数、日数などの具体的な積算内訳を記載しましたか。 ※交通費については区間、印刷費については枚数	
5	助成対象経費根拠書類 (見積書等)	助成対象経費の根拠書類はすべて揃っていますか。 ※賃金、謝金に関しては限度額内であれば根拠書類は必要ありません。	
6	組織・団体の概要 (別紙3)	記入漏れはありませんか。	
	組織図	組織図(役員名簿等)は添付しましたか。	
7	定款又は規約等	定款・規約・旅費規程(旅費の支出がある場合)は添付しましたか。	
8	組織・団体のパンフレット等	組織・団体の概要が分かるパンフレット等を添付しましたか。	

申請書の誤りや記入漏れがないか再度確認し、1～8の提出書類及びこのチェックリスト(No.1～2)を併せて本基金事務局へ提出してください。

【提出先】

〒960-8670

福島県福島市杉妻町2番16号

福島県文化スポーツ局スポーツ課内

公益財団法人福島県スポーツ振興基金事務局 宛

記入日：平成 年 月 日

記入責任者名：

印